

血糖値の異常をより早く見つけることができます。

また糖尿病の初期やその予備群には、食後に一過性に血糖値が基準を超えて高くなるだけのことがありません。この場合、食事前の空腹時の血糖値では、異常がなかなか発見できません。その点、ヘモグロビンA1cを検査すれば、血糖値の異常をより早く見つけることができます。

ヘモグロビンA1cは、赤血球の成分であるヘモグロビンにブドウ糖が結合したものです。ヘモグロビンの寿命は120日のため、ヘモグロビンA1cの量を調べることで、過去1〜2か月の間の血糖の状態が推定できます。通常の血糖値検査では、検査をしたときの血糖値しかわかりませんが、ヘモグロビンA1cの値を見れば、食事の影響なしに、血糖値の状態がわかるわけです。



ヘモグロビンA1cでわかることは？

生活習慣病



伝 医 心

第4号

ひらざわ内科ハートクリニック

毎月第4水曜日に発行予定。



スマート診察券

診察券がなくても、 当院スタッフ 事務員 携帯電話が診察券代わりになります！



当院のホームページから、予約メニューをクリック

この画面をスクリーンショットして保存すれば、いつでもお使いいただけます

おしらせ

【生活習慣病教室開催】

14時から約30分間
要予約
(TEL:0776-35-8822)

●10月12日(土)
運動療法
“お家でできる
ココモ体操”
(理学療法士)

院長ブログ～一語一笑(いちごいちえ)～

「ヒトとチンパンジー違いのはなし」

先日、休みが合い久しぶりに家内と車で遠出をしました。遠出と言っても隣の動物園、まだ息子が小さい頃三人でよく来ましたが、その子も今は高校生となり、最近では揃って外出することはめっきり少なくなりました。

動物園の人気者はホワイトタイガーや直接触れることができるウサギでしたが、私が一番気に入ったのは、霊長類のチンパンジー。表情が豊かで、見つめると目が合ったり、さすが私達と同じルーツであると再認識されました。その檻の前で「ヒトとチンパンジーの遺伝子は、ウマとシマウマよりも違いが少ないんだって」と私。「ふーん」と家内。そこはツボでは無かったようです。

実際、ヒトとチンパンジーのゲノムを比較すると98%以上が相同でほとんど差がありません。では、その違いは残り2%が決めているのかと考えてしまいがちですが、そうではないようです。詳しくは私も説明できませんが、遺伝情報を翻訳するかどうか決めるスイッチの違いと言われていました。スイッチの違いがなぜ人をヒトたらしめるのか？それを説明する仮説の一つに「性成熟の遅れ」があります。つまり性成熟のスイッチのタイミングがずれて、子供の時期が長くなったことで、学びと習熟の時間を多く取れるようになり、脳の発進が進んだとのこと。なるほど勉強中の息子は今まさにヒトへ進化する途上なのか・・・。



院長 平澤元朗先生

患者様からの声 Q&A



夜間22時まで電話対応していただけるとの事ですが、一度きりの受診者であっても対応していただけるのでしょうか？

当院は19時以降、院長の携帯に22時まで転送されます。初診の方でももちろん、電話対応させていただきます。ただし電子カルテが参照できないため、前回受診時の状態をお聞かせ頂く事があります。



皆様からのご意見お待ちしております
ご意見箱は受付に設置してあります

お知らせ

10月7日よりインフルエンザ予防接種の予約受付を始めます

詳しくは、スタッフまでお尋ねください

